



## 年末のトートーメー大掃除の注意点

**Q** 年末にわが家恒例のトートーメーの大掃除をしようと思います。実家の近所のおばさんは「七夕以外は汚れたままの方がいいよ」といいます。年末はトートーメー大掃除をしてはいけないのでしょうか？また、掃除する場合の注意点を教えてください(北海道・Kさん・40代・女性)

**A** 沖縄のトートーメーの掃除については、「日なし(良し悪しのない日)」であることから、旧暦七夕がお磨き(掃除)する日と言ひ伝えられています。しかし、「この日以外はトートーメーのお磨きをしてはいけない」という意味ではないといえます。毎年、年末にお磨きされている方々も沖縄では多いものですから、この点は沖縄のしきたりを寛大に継承していただければと思います。お磨きの注意点を次にまとめさせていただきます。

### お磨きの注意点

◎お仏壇からお下げしてお磨きするときには「カリウンチケーサビラ(お掃除のためお下げいたします)」「お戻しするときには、「ウンチケーサビラ(お仏壇にお戻しいたします)」とご報告しましょう。

◎沖縄のトートーメーは、漆(うるし)・螺鈿(らでん)・蒔絵(まきえ)の素晴らしい技術が施されていますので

傷つけないよう優しくお磨きをしましょう。

◎トートーメーのお札の並び方は、スイジュン(首里順)・ウルクジュン(小禄順)・ナーファジュン(那覇順)・ウチナージュン(沖縄順)など、家系図を表現していますので、お札を外してお磨きするときは、テーブルの上の白色のさらしや新聞紙などの敷物を準備して、その上に外したトートーメーのお札を並んでいれる順番に配列しましょう。並び順がわからなくなりますと、夫婦・親子などが逆転してしまうことになりまますので、ここは慎重に行う必要があります。

沖縄県出身、北海道在住のKさん、来る年はピカピカのトートーメーで、ウヤファーフジともども、輝かしい新年をお迎えください。

旧暦七夕-掃除の日  
すなわち...  
旧暦七夕以外に  
お掃除をしない  
ではない



絵 帰依 龍照

## 四十九日間の旧暦一日・十五日

**Q** 独身の弟が亡くなり、兄弟姉妹で供養をしていこうと話合っています。初七日から四十九日の間、一日・十五日が何回かやってきますが、親戚のおばさんから「ナンカの間はヒヌカンにウサゲたらダメだよ」といわれました。別のおばさんからは「そのままウサゲんと、〇ちゃんグソに行けないよ」といわれています。四十九日までの一日・十五日はどうすればいいのでしょうか？(名護市・Hさん・60代・男性)

**A** 今回のHさんへのご回答は、親戚のおばさんと別のおばさん双方がおっしゃる通り、沖縄では真反対の考え方が共存しています。

前者の考え方は、四十九日までのナンカ(七日)を供養行事(仏事)、旧暦一日・十五日をウグワン(御願)行事(神事)と敬い、旧暦一日・十五日の行事よりも四十九日までのナンカの行事を優先するという考え方が根底にあります。

一方、後者の考え方は、名称に『祭(さい・まつり)』がつくときにはお祝いの色彩が濃い行事と判断して、四十九日間は遠慮するという考え方が根底にあります。『祭』の文字が

かないときは、お祝いに準じない一般行事として、四十九日間であっても行われるという傾向にあります。

一例を申し上げますと、四十九日・一周忌・三回忌(この期間は地域・家庭により異なります)までの喪中はウシーミー(御清明祭)を遠慮するという考え方がです。

ただし、例外として、ジュウルクニチ(十六日祭)は、ミージュウルクニチ(新十六日祭)と『新』の文字をつけ加え、四十九日以降の一周忌までの喪中期間であっても行うことが知られています。

今回のご回答としては、Hさんたち兄弟姉妹がどちらの判断をされるかということになると思います。判断に迷われるときには、双方のおばさんのどちらが目上になるのか、どちらがムートウヤシジ(本家血筋)になるのかという選択も、ときには必要になるかもしれません。

私にご相談を受ける同じようなケースでは、少しでも多くヒラウコウでの敬いができるよう、『祭』の文字を参考として、四十九日間も旧暦一日・十五日を継続して行われる地域・家庭が多いようですので、判断に迷われたときには参考にさせていただきます。

【質問をお寄せください】年中行事やしきたりに関して、日ごろから疑問に思っていることや、質問をお寄せください。随時、紙面で紹介する予定です。「かふう編集室 年中行事Q&A係」郵送、FAX、メールで受付。宛先は19面をご覧ください。